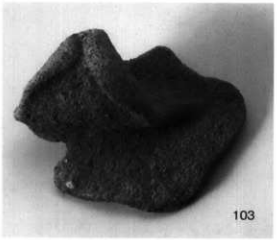
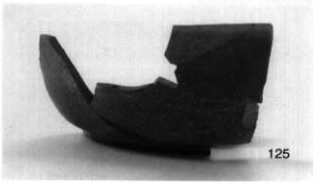
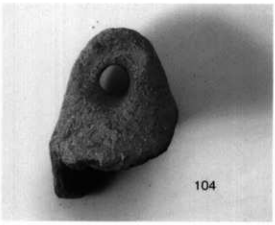
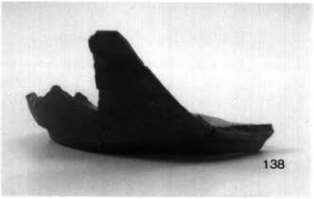
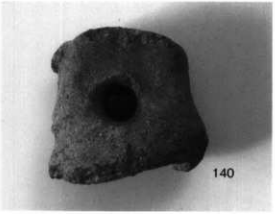

103

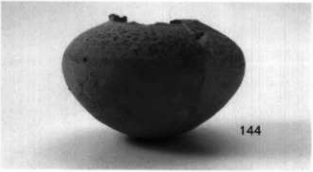

125


104

128


138

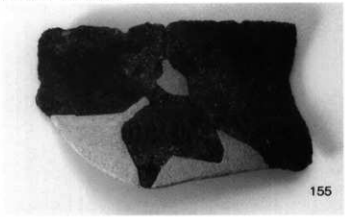

140


144

145

153

図版 60　川原遺跡


155

157

234 立面

234 外面

238

報告書抄録

ふりがな	ほんごういせき　かわらいせき
書名	本郷遺跡　川原遺跡
副書名	県道円座香南線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告
巻次	第2冊
編著者名	森下英治・蔵本晋司・藤好史郎
編集機関	香川県埋蔵文化財センター
所在地	〒762-0024　香川県坂出市府中町字南谷5001-4　Tel　0877-48-2191　Fax　0877-48-3249
発行機関名	香川県教育委員会
発行年月日	西暦2008年11月30日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
ほんごういせき 本郷遺跡	かがわけん　たかまつし 香川県　高松市 にしのざきちょう 西山崎町、 なかつまちょう 中間町			34° 17′ 37″	133° 59′ 43″	2002.11～2006.9	8,257㎡	県道円座香南線建設
かわらいせき 川原遺跡	かがわけん　たかまつし 香川県　高松市 なかつまちょう 中間町			34° 17′ 11″	133° 59′ 40″		7,719㎡	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
ほんごういせき 本郷遺跡	集落跡	旧石器、縄文、弥生、古墳、古代、中世	石器集中部、貯蔵穴跡、竪穴住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、河川跡	ナイフ形石器、旧石器接合資料、縄文土器、弥生土器、石器、土師器、須恵器、墨書土器	
かわらいせき 川原遺跡	生産跡	旧石器、縄文、弥生、古代、中世	石器集中部、河川跡、溝跡	ナイフ形石器、有舌尖頭器、黒耀石製剥片、弥生土器、石器、須恵器、土師器	古代南海道推定地で直線溝跡検出

要約

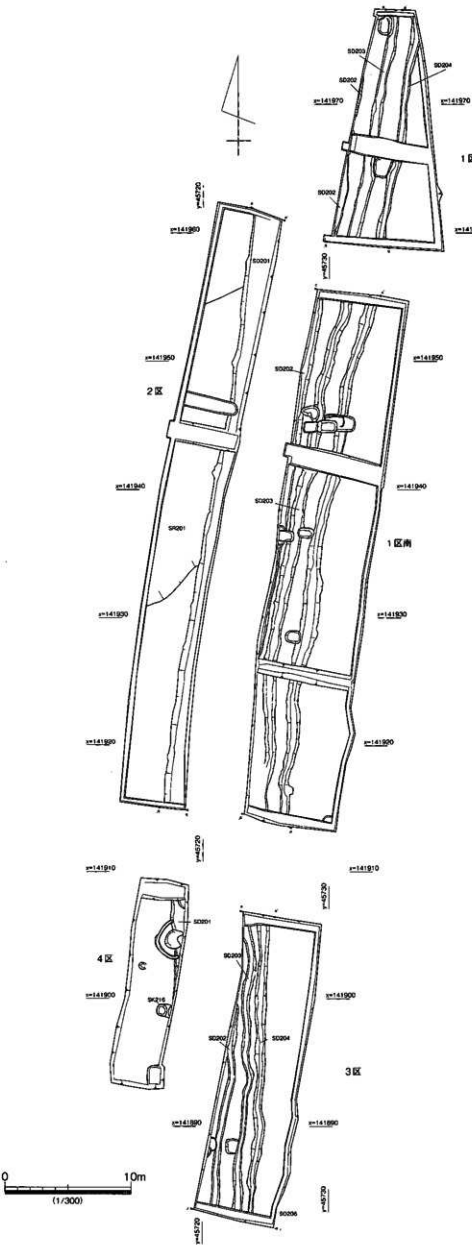
本郷遺跡では、瀬戸内技法関連資料・小型ナイフ形石器などの旧石器時代の遺物が出土した。また、縄文時代後期から晩期にかけての貯蔵穴跡、柱穴跡、溝跡を検出し、断片的ながら縄文時代集落の一端が明らかとなった。県内では希少な平野部の集落跡である。弥生時代は、灌漑用水路跡の分岐点付近で竪穴住居跡、掘立柱建物跡を検出した。古代以後は条里関連水路跡を検出したほか、墨書土器や緑釉陶器が出土した。川原遺跡では、旧石器・縄文時代の石器分布を検出し、小型ナイフ形石器・有舌尖頭器が出土した。また、歴史地理学で指摘されている古代南海道推定地において、12世紀に埋没した大規模な直線溝1条（SD12）を検出した。しかし、側溝に該当する溝跡は1条のみで、積極的に道路側溝と評価する材料はない。SD12は流水堆積を伴い、等間隔で排水口が付属するなど、水田に伴う排水路の形態を呈す。埋土より水田雑草の種実遺体が多数出土した。層位別にその変化を分析すると、灌漑水路として管理された形跡が読み取れた。中世以後も、周辺は生産域として使用し続けられた。

県道円座香南線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第2冊

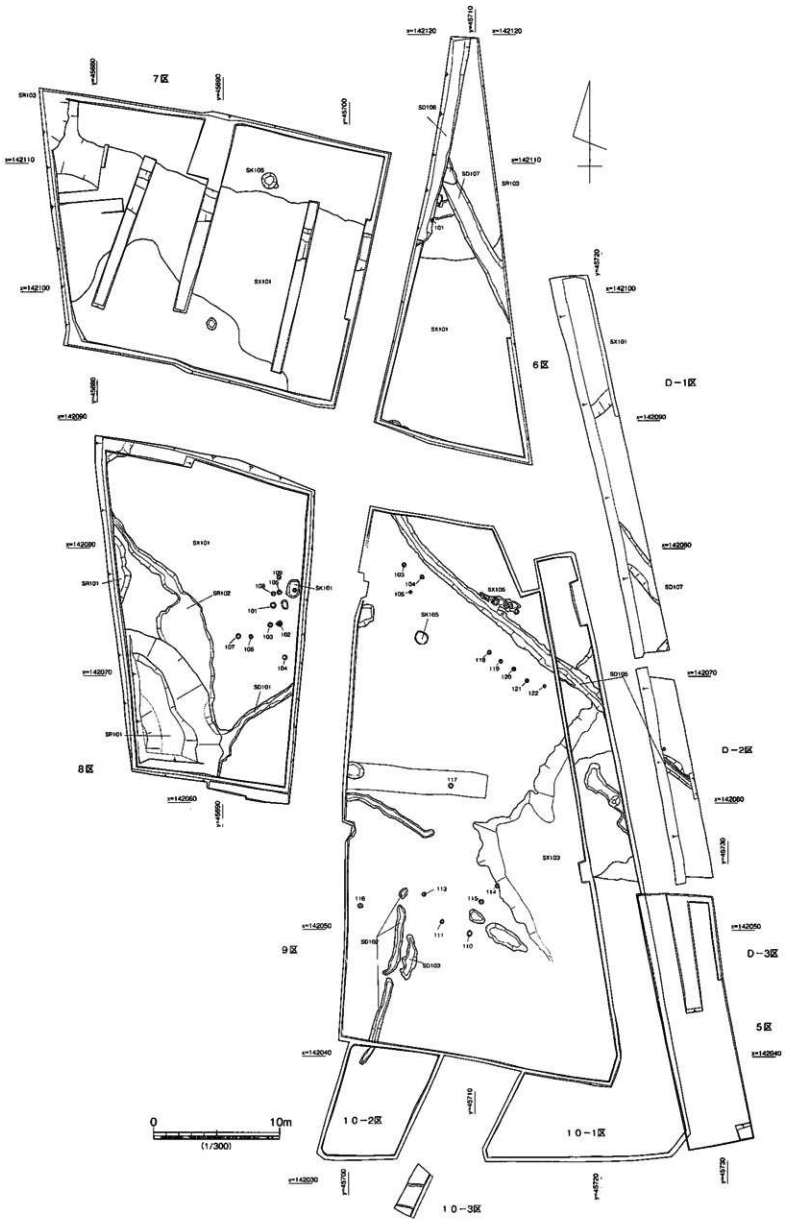
本郷遺跡
川原遺跡

平成20年11月30日

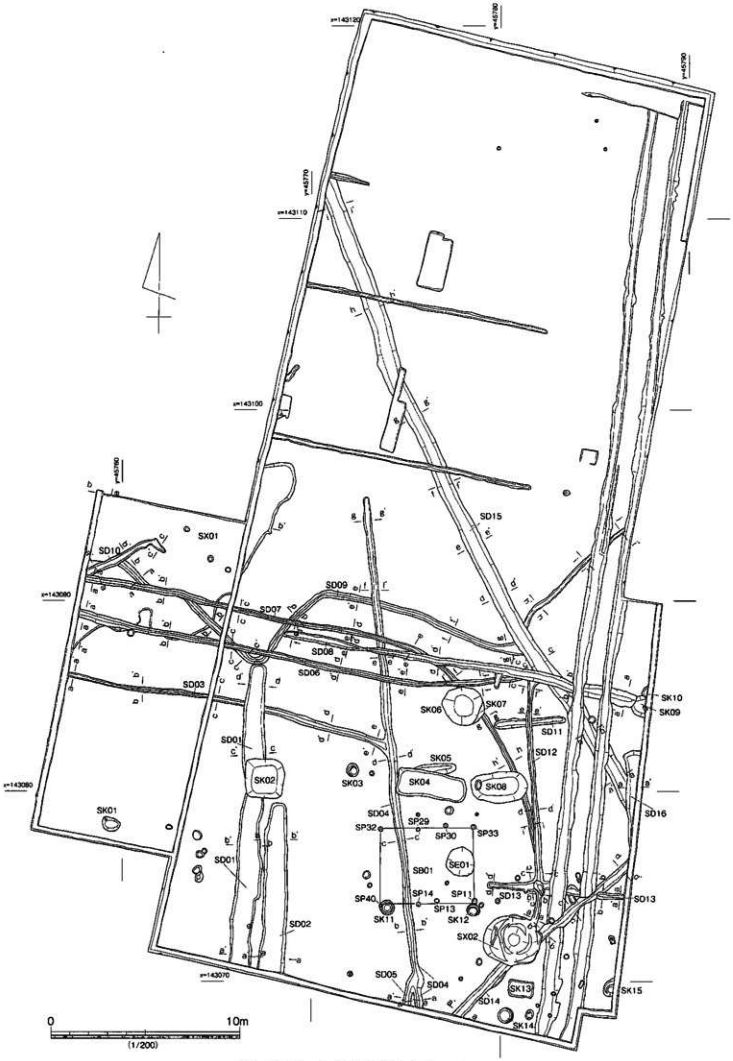
発行・編集　香川県埋蔵文化財センター
〒762-0024　香川県坂出市府中町字南谷5001番地の4
電話（0877）48-2191（代表）
発行　香川県教育委員会
印刷　株式会社　成光社



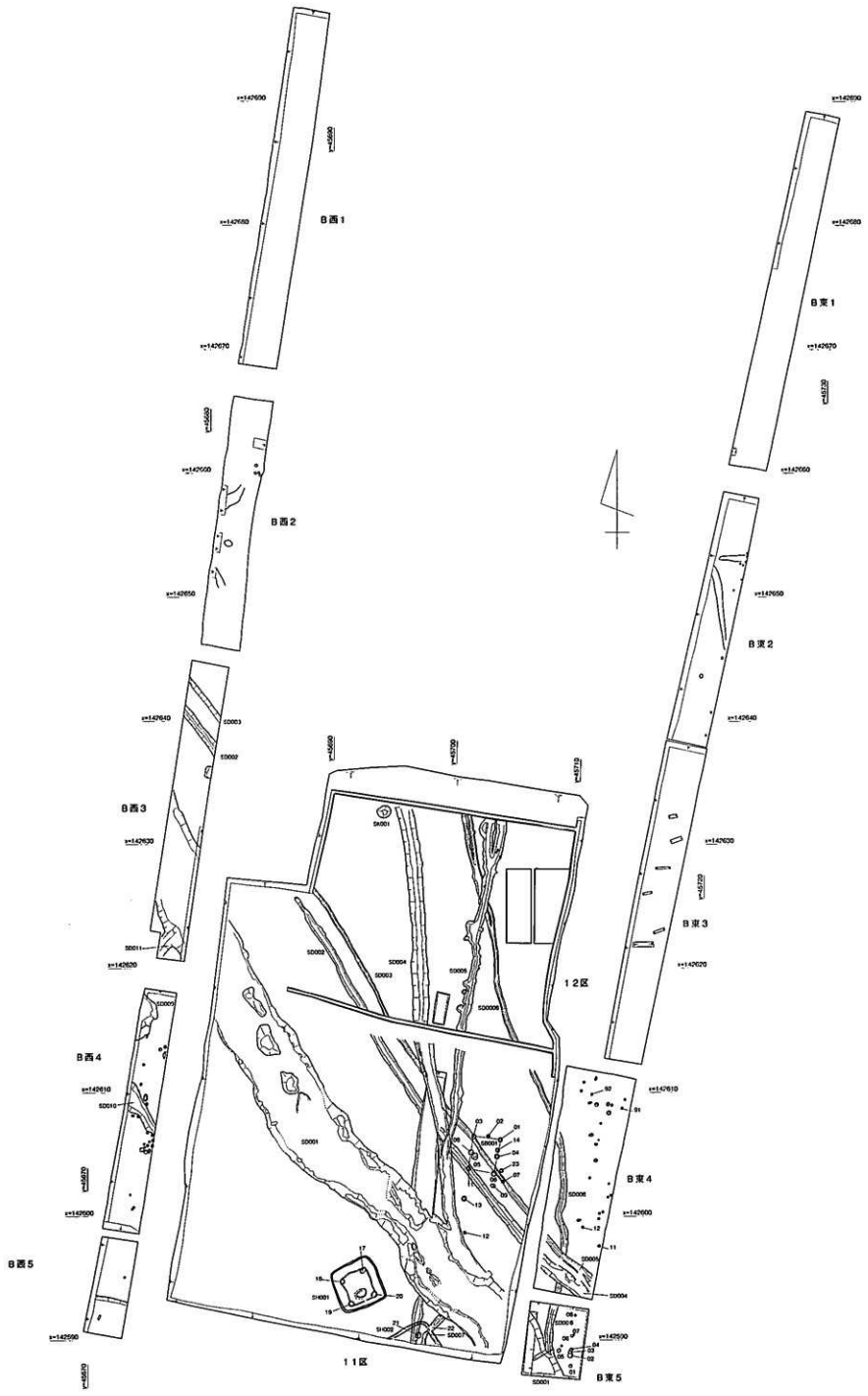
本郷遺跡 南地区全体遺構分布図1（1～4区）



本郷遺跡 南地区全体遺構分布図2（5～10区・D区）



川原遺跡5区遺構配置図　S=1/200



本郷遺跡北地区全体遺構分布図